

都市再生整備計画 事後評価シート
南芦屋浜地区

平成26年1月

兵庫県芦屋市

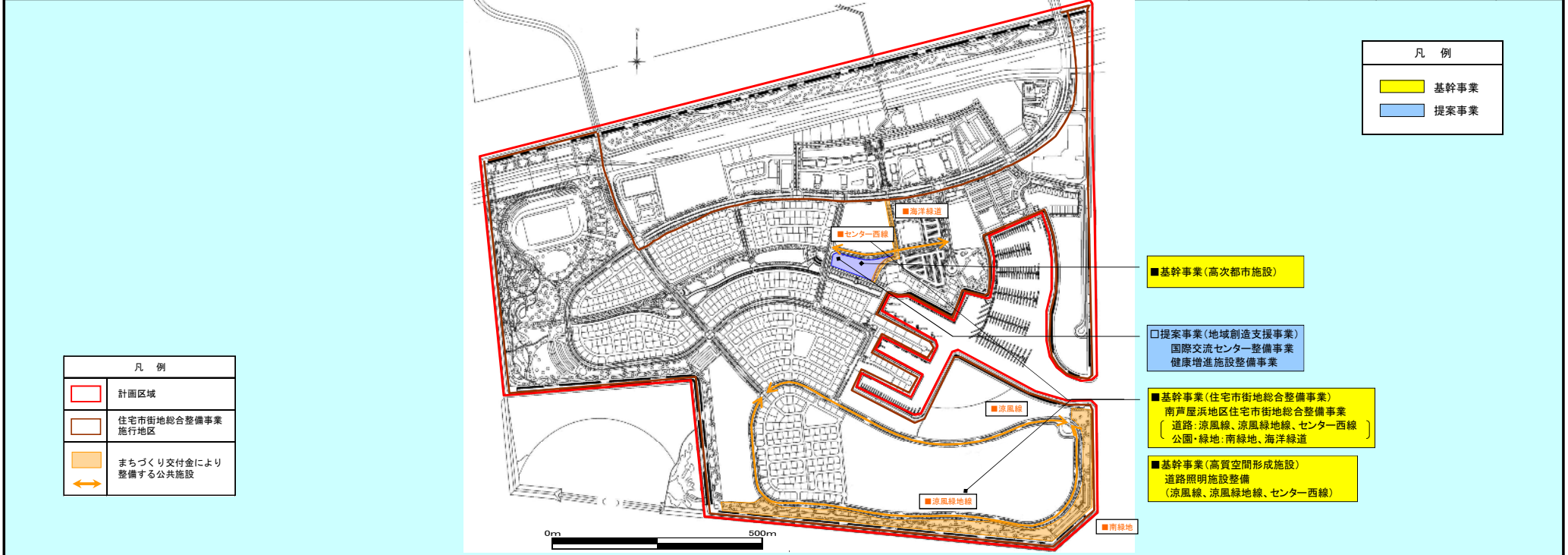
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	兵庫県		市町村名	芦屋市		地区名	南芦屋浜地区			面積	125.6ha		
交付期間	平成21年度～平成25年度		事後評価実施時期	平成25年度		交付対象事業費	5,011百万円	国費率	40.0%				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	住宅市街地総合整備事業(道路・公園の整備)、高質空間形成施設(街路灯の整備)、高次都市施設(地域交流センターの整備)									
			提案事業	地域創造支援事業(国際交流センター・健康増進施設の整備)、事業活用調査(事業効果分析)									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	住宅市街地総合整備事業(居住環境形成施設整備:涼風東公園)	計画策定時から、南芦屋浜地区における宅地整備進捗状況の変化により、街区公園を取りやめた。当初は道路施設として整備予定だったため、照明設備は高質空間で設置する予定であったが、調査の結果、公園施設として整備することとなったため、緑道の照明設備を住市総事業へ振り替える。				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			提案事業	まちづくり活動支援事業(住民緑花活動)	まちの成熟に伴い、住民主体による地域活動が自発的に活発となり、良好なコミュニティが形成されており、改めて活動支援する必要がなくなったため。				—				
	新たに追加した事業		基幹事業	—	—				—				
			提案事業	—	—				—				
	交付期間の変更	当初	平成21年度～平成25年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		—							
	変更	—	—		—								
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	交流人口	人/年	7,942	H19	10,000	H25		27,583	○	あり なし	駐車場及び定住人口増加により移転前より劣る利便性を克服し、目標達成に繋がった。	平成26年3月
	指標2	南芦屋浜地区居住人口	人	3,378	H20	4,400	H25		5,039	○	あり なし	インフラ整備の進行に伴い、暮らしやすい街が形成され、定住人口の増大に繋がった。	平成26年4月
指標3	公園等利用者数	人/年	401,000	H19	440,000	H25		641,467	○	あり なし	レクリエーションを楽しみながら自然と触れ合える公園になったことが目標達成に繋がった。	平成26年3月	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	—	—	—	—		—				—	—	
	その他の数値指標2	—	—	—	—		—				—	—	
その他の数値指標3	—	—	—	—		—				—	—		
4)定性的な効果発現状況	—												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	—		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				—					
	住民参加プロセス	—		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				—					
	持続的なまちづくり体制の構築	—		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				—					

様式2-2 地区の概要

南芦屋浜地区(兵庫県芦屋市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 多世代循環型の交流と賑わいのあるまちづくり 目標1: 健やかな暮らしを育むまち 目標2: すべての人に暮らしやすいまち 目標3: 芦屋の魅力があふれるまち	交流人口	単位: 人/年	7,942	H19	10,000	H25	27,583	H25
	南芦屋浜地区居住人口	単位: 人	3,378	H20	4,400	H25	5,039	H25
	公園等利用者数	単位: 人/年	401,000	H19	440,000	H25	641,467	H25



まちの課題の変化

- ・形成された公共空間に対して、継続的に適性な維持管理を今後行う。
- ・今まで課題となっていた国際及び地域交流拠点のハード整備は完了したため、この拠点を持続して生かすソフト活動への支援を今後行う。
- ・宅地分譲により今後見込まれる更なる定住人口の増加に対して、コミュニティづくりへの支援を今後行う。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

今後、整備した道路や公園を適切に維持管理していくこととなるが、定住人口の変化や環境等の状況を定期的に把握し、必要に応じて対策を検討していく必要がある。